

令和3年11月吉日

各 位

宮城県ゆすり葉の会

会長 樋渡 晃

講演会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のことお慶び申し上げます。日頃より当会活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、遷延性意識障害者・家族の会「宮城県ゆすり葉の会」は日本損害保険協会の助成事業として、東北大学大学院教授の新妻邦泰先生を講師にお招きし、講演会を下記の通り開催いたします。

遷延性意識障害者・ご家族の方をはじめ、介護・リハビリテーションに携わる医療・介護従事者の皆様にぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。

また、このご案内を皆様と関わりのある遷延性意識障害者・ご家族の皆様にもお声掛けいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

敬 具

記

日 時：令和3年12月4日（土） 14：00～15：30

演 題：「中枢神経疾患新規治療法開発への挑戦！」

～Muse細胞による神経機能再建～

講 師：東北大学大学院医工学研究科／医学系研究科

神経外科先端治療開発学分野

教授 新妻 邦泰 先生

※ 参加方法：Zoom（50名）

参加ご希望の方は下記事務局まで、事前にお申し込みください。

お申し込み・お問い合わせ 宮城県ゆすり葉の会 事務局 園田淳子

TEL/FAX 022-308-5080

携帯 090-8345-5177

E-mail ksonoda@mist.ocn.ne.jp

「中枢神経疾患新規治療法開発への挑戦！」 ～Muse細胞による神経機能再建～



2021年12月4日（土）14:00～15:30

東北大学大学院医工学研究科/医学系研究科
神経外科先端治療開発学分野 教授

講師：新妻 邦泰 先生

現在本邦には、莫大な数の中枢神経疾患に苦しむ患者がおり、家族を含めた負担が社会問題となっている。「脳が極めて脆弱であり、傷害を受けるまでの時間が短いこと」、さらに「ひとたび傷害されると原則として再生しないこと」が問題となり、既存の如何なる治療法でも根本的に機能を回復させられないことが多い。従って、脳自体を再生させる幹細胞治療に期待が集まっている。Muse細胞は、様々な組織に分化する能力をもちながら安全性も高い多能性幹細胞である。我々は、脳梗塞に関する基礎研究成果の臨床現場への橋渡しに力を入れており、脳梗塞に対してMuse細胞製品を投与する治験を実施した。本発表では、これまでの研究開発や、今後の課題・展望などにつき概説する。

参加方法：ZOOM

※参加ご希望の方は下記事務局まで「お名前、ご職業（所属）、メールアドレス」を送信して下さい。後日、ZOOMのURL、ミーティングID・パスコードをお送りします。

※参加は50名（家族会会員以外の一般の方）とします。予めご了承下さい。

申込締切：11月30日

※写真の撮影、録画、録音は固くお断りします。

この行事は日本損害保険協会の助成事業です

- 〈主催〉 遷延性意識障害者・家族の会「宮城県ゆずり葉の会」
- 〈共催〉 日本意識障害学会、全国遷延性意識障害者・家族の会
- 〈後援〉 宮城県、仙台市、河北新報社、
宮城県医療ソーシャルワーカー協会

お申し込み
お問い合わせ

宮城県ゆずり葉の会 事務局（園田）

TEL：090-8345-5177

E-mail：ksonoda@mist.ocn.ne.jp